

＜報道関係各位＞

株式会社 **アデランス**

アデランスの第三の機能性人工毛『CYBER X』が 擦弦楽器用人工弓毛として特許を取得

毛髪・美容・健康のウェルネス事業をグローバル展開する株式会社アデランス（本社：東京都品川区、代表取締役社長 津村 佳宏）は、当社が開発した人工毛『CYBER X（サイバーエックス）』の紡糸技術を応用し、「擦弦楽器用人工弓毛」として国立大学法人東京工業大学（以下、東京工業大学）との共同特許を取得しました。

『CYBER X』は、2022年にウィッグや増毛商品に使用する人工毛として開発しました。今回、『CYBER X』を紡糸する技術を応用し、新たにバイオリン、チェロなどの弦楽器の弓に張る「弓毛」として、東京工業大学とドイツのアーヘン工科大学と共同開発しました。開発した「弓毛」は専門家からも高評価をいただき、アーヘン工科大学の記念式典では、日・独の学生により試奏されました。

一般に「弓毛」は馬の尾の毛を使用しているため、湿気など環境や気候により「弓」の張り具合に影響を受け、その都度細かなチューニングが必要な特性があります。『CYBER X』は人工毛のため、環境変化に関係なく安定した音を出せる可能性に着目して開発し、アーヘン工科大学の博士研究員には「音質も変わらず、チューニングの手間が省ける」とご好評いただきました。当社では今後も、自社の人工毛の可能性を広げる研究を続けてまいります。



（奥）馬の尾の毛を使用した弓
(手前) 『CYBER X』を使用した弓

■国立大学法人東京工業大学 物質理工学院 特任教授 鞠谷 雄士氏コメント

アデランスとは20年以上、人工毛の共同研究を行っております。今回はアデランスが人工弓毛の製造、東京工業大学がアーヘン工科大学と連携した評価結果の分析や考察という分担で共同開発を進めました。難しかったのは、人毛とは太さが大きく異なる馬の尾の毛を模した人工毛に人毛のキューティクルのような表面構造を与えることですが、『CYBER X』開発の過程で培った理論基盤と豊富な経験により実現出来ました。



■アーヘン工科大学 繊維技術研究所（ITA）所長 トーマス・グリース教授コメント

今後の課題は、代替製品または付加価値のある製品としての、市場参入方法です。

【特許概要】

発明名称：擦弦楽器用人工弓毛及びこれを有する擦弦楽器用弓（特許第7382609号）

登録日：2023年11月9日

特許権者：株式会社アデランス、国立大学法人東京工業大学

発明者：鞠谷 雄士（国立大学法人東京工業大学）、グリース,トーマス（アーヘン工科大学）

佐藤 駿祐（株式会社アデランス）

55
NEXT ADERANS
SINCE 1968 アデランス

株式会社アデランスは、おかげ様で2023年をもって創業55周年を迎えました。新時代を表す「NEXT ADERANS」として掲げ、創業当初からの理念「世界のブランド アデランス」を目指し、毛髪・美容・健康・医療のグローバルウェルネスカンパニーとして夢と感動を提供し続けていきます。

＜報道関係者様のお問い合わせ先＞

株式会社アデランス グループCSR広報室

TEL: 03-6895-9615 e-mail: pr@aderans.com

アデランス ホームページ: <https://www.aderans.co.jp/corporate/>